

2020/07/13 (月)

朝の礼拝

聖書 詩編8編4,5節 (旧約聖書840頁)

- 4 あなたの天を、あなたの指の業を  
わたしは仰ぎます。  
月も、星も、あなたが配置なさったもの。
- 5 そのあなたが御心に留めてくださるとは  
人間は何ものなのでしょう。  
人の子は何ものなのでしょう  
あなたが顧みてくださるとは。

こころを休めて

人間はどうして学んだことを一晩で忘れてしまうのでしょうか。でも覚えようと思わなくても、幼い頃に聞いた歌などいつまでも忘れません。人間の記憶というのは不思議です。

人間は意識して覚えようとしても限界がある反面、無意識にこころに残るものがあるようです。そして休んでいるうちに意識と無意識のバランスを取るのでしょうか。休むことは大事なことです。

詩人は「月も、星も」と歌っています。詩人は夜空を見上げています。視覚的に休んでいます。意識が穏やかになり「人間は何ものなのでしょう」とつぶやき、こころを休めています。

試験の時は精神的に追い込まれ、意識が高揚しているかもしれませんが。昼は軽い運動などしながら、夜はしっかり心身を休め、例えば朝勉強をして意識を呼び覚まし試験に臨むといいでしょう。

(しばらく黙祷しましょう)

祈祷 祈りましょう

わたしたちを愛し、励まされる主よ

新しい朝を迎えました。梅雨に入り各地で豪雨が続き、不安な朝を迎えている方々もおられます。どうか一時でも早く必要な支援が与えられますように祈りします。

また、本日、学期末テストの折り返しを迎えました。英和生の健康を守り、ベストを尽くせますように祈ります。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びの内に過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いします。アーメン